



vol.15

原稿：森・岡崎
デザイン：甘城



霜月
SHIMOTSUKI

福岡三越で販売会を

実施しました！

(農林資源活用プランナー森)



▲ 筑前町の商品に興味津々のお客様。何度もメディア取材を受けましたよ！

9月19日(火)

火く25日(月)

の1週間、福岡三越B2

II テイステイ

パティオにて

行われた「復

興支援日田

市・朝倉市・

東峰村・筑前

町物産展」に

協力隊全員

で参加しました。

当日はみなみの里から出品した「復興弁当」をはじめとして揚げ豆腐や黒豆煮などの惣菜、梨、柿などの果物、クロダマルを中心とした加工品などを販売。最初は呼び込みの声が出なかつたメンバーも最後にはお客様と会話できるまでになり、筑前町をアピール。会場として過去最高の売上を達成し、大きく貢献しました。10月には東京での販売会も行いました。今後も頑張ります！

九州フードエキスポ&スポーツフェスタにまんま号出店

(フードイベントマネージャー岡崎)

10月6日(金)く8日(日)に天神中央公園

で行われたフードエキスポと、9日(月)祝に

平和台運動公園で行われたスポーツフェス

タにキッチンカーで出店をしました。初日は

大雨で来客が少なかったのですが、翌日

から天候に恵まれ、たくさんのお客様にお

越しいただきました。

温かいクロダマルぜんざいも用意してい

ましたが、地元の食材をふんだんに使った

かき氷の方がよく売れて行列ができる時

間帯もあり嬉しい悲鳴でした。

また、他の出展ブースやキッチンカーを間

近に見る事がで

きて、新しい出会

いと共に良い刺

激を受けた数日

間でした。今後


も筑前町の食の

魅力を発信して



▲ 行列ができた時の様子 (平和台運動公園)

いきます。



■参加条件
筑前町で撮影した写真をInstagramでハッシュタグ「#ちくぜんフォト」をつけて投稿

■応募期間
2017年9月1日(金)～2018年2月28日(水)

■テーマ
筑前町の魅力が伝わる写真

※ 詳細は、ホームページを検索またはQRコード(下段)を読込


筑前町の魅力をInstagramで発信しよう!!

地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行う。その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。(任期:最長3年間)

筑前町地域おこし協力隊の活動をもっと知りたい方は公式ホームページからチェック!各SNSにもアクセスできます!

筑前町地域おこし協力隊



イチニチクゼン

町内の人からすると何気ない日常。しかし、町外から来た地域おこし協力隊にとっては新発見! 筑前町の良さを見つけるコーナー。



地域おこし協力隊 | 観光ツーリズムプランナー
yu_hashimoto



町へ移住して1年が過ぎ、みなみの里で「木酢の入荷はじまりました。」とのニュースを聞いて秋を感じられるようになりました。木酢が出立てのこの時期はうどんに輪切りをたくさんつけて食べるのがお気に入りです。この夏、愛称を募集していた木酢。たくさんの応募があったようで、発表が楽しみです。